

平成18年 8月24日

西日本地域高等専門学校技術職員特別研修（物質系）報告書

物理・化学系班 鈴木 猛

1. はじめに

この研修は、高等専門学校の技術職員に対して、その職務の遂行に必要な高度で専門的な知識を習得させ、技術職員の資質の向上を図ることを目的とされた。

2. 主 催

独立行政法人国立高等専門学校機構

3. 担 当 校

宇部工業高等専門学校

4. 研修内容

期 間 平成18年8月21日（月）～23日（水）

研修会場 豊橋技術科学大学情報メディア基盤センター

第1日

特別講演 「豊橋技術科学大学がめざすもの」 豊橋技術科学大学長 西永 頌

講義1 「液相からの機能性材料の合成と評価技術」

豊橋技術科学大学物質工学系 助教授 松田厚範

講義・実習2 「NMRを用いた機器分析の講義と実習」

豊橋技術科学大学物質工学系 助手 芝富一孝

第2日

午前 技術課題の発表及び討議

午後 施設見学：三菱レイヨン株式会社豊橋事業所

第3日

午前 技術課題の発表及び討議

午後 技術課題の発表及び討議

5. 所感

技術課題の発表に関しては、各高専の発表には技術職員それぞれの立場により内容にかなり幅があった。専門的な発表に対しての質問はあまり多くなかった。反面、学生実験関係や技術職員に関する発表、例えば「機械科実習の業務以来について：有明高専」には、多くの意見が出された。どこの高専にも将来的に切実な問題となっていると感じられた。

最終日には自由討論の時間が設けられたが、組織化に関連して業務支援のあり方や、将来的な人員削減に対する対処などが話題にあがった。

研修を通して講義や自分の発表を含めてであるが、技術課題の発表の聴講は、有意義であった。また、他校の職員との情報交換の場が持てたことは非常に貴重であった。